

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2015年 2月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2015年 2月1日発行 通巻262(毎月1回発行)

千葉県連盟創立 50周年を

仲間と共に祝おう !!

2月号目次

・目次	2
・1月・理事会報告	3
・会・クラブ紹介「君津ケルン山の会」	4
・県連「創立50周年事業」案内	5
・雪上技術講習会案内	6
・ロングハイク報告	7
・2014年事故防止経験交流集会報告	8
・関東女性委員会「もちつき交流会」案内	9
・千葉県連よりのお知らせ	10
・県連たより	11
・2月・3月予定表	12

表紙説明

今月の、会紹介は「君津ケルン山の会」にお願いしました。
会員数は少ないが、結束の強い気心の知れた山の会です。
房総の山のエキスパート集団です。房総ロングハイク・クリーンハイク等で
力を発揮しています。

会紹介の掲載順番は、以下の通りです。

ご協力をお願いします。

◆ 前半6月までの当番です。

3月 茂原道標山の会 4月 船橋勤労者山の会 5月 まつど山の会
6月 東葛山の会

◆ 送り先：広木 国昭 danphiro@zpost.plala.or.jp

◆ 締切り 毎月 28日を目安にお願いします。

2014年度第10回理事会報告

■開催日時:1月15日(木)19:00～

■開催場所:船橋市西部公民館

■出席:ちば山、茂原、松戸、船山、東葛、ふわく、市川、あびこ、こまくさ、シリウス、かがりび、らんたん、民医連、自然保護、教遭、ハイキング、救助隊、会長、理事長、副理事長、会計(山翠会理事兼任)、以上21名

■配布資料

・14年事故報告

■議題

1. 委員会・救助隊報告

*教育遭難対策委員会(岡田)

1)事故報告 南アルプス冬合宿における凍傷事故(船山)

2)15年雪上技術講習

・主管を救助隊にお願いした。講習内容をつめている

*ハイキング委員会(桑原)

・ロングハイク 60名参加予定、男性はシュラフ持参のこと

・ウィークデー山行 50周年にからみ、案として谷川・ゼニイレ沢出合の故吉尾氏レリーフ参拝、日にちは未定

*自然保護(菅井)

自然保護セミナー

・船橋・きららホール予約取れなかったため、千葉市文化センター(パルコ向い)へ変更。定員140名

・日程は15/11/14(土)

*女性(広木)

・ワンコイン講習、15/2/1(日)実施。当日参加OKなので広く参加を呼びかけて欲しい

*救助隊(吉田重)

・12/7,8 救助隊忘年会&訓練(谷川) 13名参加

・1/20 総会

・2/11 房総・高宕山にて定期訓練

・2/21,22 関東ブロック深雪訓練(主管神奈川)参加予定

2. 代表者・理事合同会議について

・特別基金の学習会(改正点をメインに)を行うので、質問等あれば事前に鶴田まで。

・事故防止(山行管理)についての意見交換を行う

・各会の出席者を会長まで連絡のこと

・合同会議開催にとなひ、2月の理事会は行わない

3. ちばニュース(広木)

・各会紹介コーナーを設けた。原稿はA41枚でいいので依頼時は協力願いたい

4. その他

1)労山カレンダー収益金 48,600円(200円/本)県連へ入金済み

2)ハイク中にトレラン開催とかち合い危険な目にあった、県連で対処できないか(こまくさより)→

・労山は大規模なトレラン開催には反対の立場

・県連よりも、まずはトレランの主催者へ抗議すべきではないか

3)全国連盟評議会が2/21,22で開催

■今後の理事会日程について

・3月19日(木) 場所:西部公民館
時間:19時より

君津ケルン山の会 紹介

神田 武治 (君津ケルン山の会 会長)

君津ケルン山の会は、新日本製鉄が君津の地に進出してからその社員の有志により、1969年(昭和44年)に設立された。当時は岩や雪山等オールラウンドに活動していたようである。が、最近ではすっかり高齢化が進み、無雪期や低山ハイクが多くなっている。当会は発足してから今年で46年目。毎月の会報「ケルン」も今年の1月で400号となった。幸いにもこれまで重大事故はなく、その足跡を刻むことができた。とはいえ事故の可能性はどこにでもあるので、事故のない「楽しい山歩きをしよう。」ということを念頭に活動している。ただ唱えるだけでは、事故を防げないので、以下のことを重点的に取り組んでいる。

1. 事前の計画をしっかりと、会山行では、ハイキング委員会を中心に

目的の山やルート、装備、食事のメニュー等事前の例会でガヤガヤ言いながら、全員で決める。個人山行では計画をキチンと立てて遅くとも3日前までに計画書を提出する。

2. 地形に興味を持つ

地図を見て等高線の模様から尾根や沢、道等を読み取り、当日は次に現われる山の表情や景色を思い描きながら歩けば、山歩きの楽しさは倍加し、脳は活性化し、結果的に事故減少につながるであろう。

3. 事故事例に学ぶ

千葉ニュースで報告される事例や、「山と溪谷」誌の事故検証記事などを参考にして例会で話し合う。

4. 君津ケルン山の会は、活動しているのは20人に満たない小さな会であるが、皆でガヤガヤ議論しながらやってきた関係か、管理面で少しゆるい面があったようなので、その点を詰めていきたい。今後もより楽しく山に親しむには、どうあるべきかを追求していきたい。



支援作業に参加



山行では、超豪華鍋料理

千葉県連盟創立50周年記念事業の概要案内

◆ 記念事業の行程・進捗の確認

1、記念山行について（担当・安彦 副実行委員長：東葛山の会）

① 海外ハイキングについて（バリ島サンライズ・トレッキング）

- ・目的地：バリ島（バトゥール山：1,717m・アグン山：3,031m）
- ・募集人員：30名
- ・費用（予算）：上限20万（飛行機往復・宿泊費・現地移動費・ガイド料）

② 千葉の山トップ50：50周年にちなんで

- ・全会・クラブの参加で実施
- ・日程：2015年9月～2016年8月
- ・登山報告を、ガイドブック的にまとめてはどうか？

2、千葉県連の自然保護の取り組みについて

① 自然保護セミナー

- ・千葉県連の自然保護運動のまとめと学習として実施する。
- ・実施日：2015年11月14日
- ・会場：千葉文化センター（千葉市中央区・JR千葉駅より徒歩5分）
- ・収容人数：150名
- ・講師：鶴沢 喜久雄氏（ふわくHC）

② 千葉県の自然の現状視察と、自然保護活動について

- ・追原ダム計画現場、鬼泪山水源地、現状視察の実施
- ・産廃埋め立て現場、水源地の現状視察
- ・他の自然保護団体との交流

3、房総の山・沢についての紹介（現在は白紙）

- ・各会・クラブで取り組んでいる、房総の山、沢、などの資料提供をお願いしガイドブック的にまとめる

4、吉尾 弘氏の慰霊山行（谷川岳・一の倉沢）

ハイキング委員会を中心に、ウィークデイ山行として取り組む

5、50周年を祝う、記念イベント

- ・2016年10月 清和県民の森において、記念事業の締めくくりとして全会参加で交流会を実施する

6、記念誌「50年のあゆみ」（仮題）の発行

- ・千葉県連盟の活動を、後世に伝える資料としてまとめる
- ・具体的内容として、県連盟の歴史、加盟会の紹介、会員数の推移、千葉県連盟の特徴的な取り組みのまとめなど、
- ・50周年記念事業の紹介、参加報告など

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 実行委員会に参加・協力・資料提供をお願いします。・ 連絡先・問い合わせ等は：広木 国昭 danphiro@zpost.plala.or.jp |
|---|

2015 雪上技術講習の案内

千葉県連教育遭難対策委員会

今年度も引き続き、残雪期の事故防止を目的とし、主に単独では取り組みが難しい会を念頭に置いて、県連救助隊を中心として協力頂き、雪上技術講習を下記の通り開催します。各会よりの積極的な参加を望みます。



日時：4／4（土）現地集合7：30 開始8：00～13：00

実施内容：雪上技術訓練 初級及び中級

一般的な冬山登山でのロープワーク含む。

主管：県連救助隊 講師／県連救助隊他

<追> 4／5（日）は自由行動

場所：谷川岳・マチガ沢出合い付近 現地集合

交通／宿泊：各会毎に。 宿泊は 土合駅 マチガ沢出合付近又は土合山の家
(tel 0278-72-5522) 等。尚、ロープウェイ駅待合室は宿泊不可。

参加会の事前打ち合せ：3／26（木）19：00～県連事務所

持参装備：雪山装備一式

各会毎：ロープ1（9＊45 8＊30等）

申込み・問合せ：3／15（日）までに、遭対委員会岡田へ。

e-mail：ken-ichi@f4.dion.ne.jp 又はfax：043-271-4704。

第 31 回房総ロングハイキングを終えて

ハイキング委員長 桑原 年一

山行日 2015 年 1 月 24 日（土）～25 日（日） 一泊二日
参加者 松戸山の会 13、岳人あびこ 4、かがりび山の会 4、東葛山の会 8、君津ケルン山の会 4、ふわく HS 4、茂原道標山の会 1、千葉こまくさ HC 7、ちば山の会 10、埼玉・三郷山の会（全国ハイキング委員）1、 計 56 名

24 日（土）

東葛地区バス組 31 名は保田大崩スイセンロードから・津森山、人骨山を歩いて来ました。天気が曇って来ましたが雨は降らずに、水仙の花も見頃でした。

夕、七里川温泉に其々歩いて来た人、直接来た人と合流、友好を温めました。

5：30 から広木会長の挨拶、佐藤来賓の挨拶、中原実行委員長からコース説明の後、古瀬顧問の乾杯の音頭で交流会になり、ビンゴゲームで締めくくり就眠となりました。

25 日（日）晴

晴天に恵まれ 6：00 出発です。暗いので途中まではヘッドランプのお世話になる。石尊山手前で日の出を拝み、山頂を踏み順調に歩を進めるも、途中危険箇所もあり、麻綿原（天拝園）の到着が予定より遅れる。焦っても事故に繋がるのでゆっくり先を進み、やはり危険箇所も 2,3 あったが、無事にクリアする。M33 硯石から先今年のコースが荒れているので新コース（鶏毛山コース）をとる。一箇所難所があったが良い道を進み、最短で藪漕ぎ道もあったが無事に本沢林道に下山出来ました。バスと温泉の車（オーナー）にはお待たせして申し訳なかったが無事故で其々帰宅できました。参加の皆様有難うございました。

以 上



2014 事故防止・経験交流集会の報告

教育遭難対策委員会 岡田 賢一

去る11月29－30日、船橋県民の森「さざんかの家」にて、2014 事故防止・経験交流集会が開催されました。

「事故の再発防止」と「各会の交流」と「セルフレスキュー講習」を目的とするこの集会は2009年より始まり6回目の取り組みとなりましたが、本年は11団体（*）計78名の参加を得て盛況裡に実行出来ました。

*山の会「岳樺クラブ」 松戸山の会 千葉こまくさハイキングクラブ
かがりび山の会 ふわくハイキングサークル 船橋勤労者山の会 東葛山の会
ちば山の会 まつど遠足クラブ 1年さくら組 茂原道標山の会 まつど山翠会

今回は、「事故再発防止への取り組み」に加えて「各会内での山行把握・管理法」を報告して貰いましたが、予めの趣旨徹底が不足しており、折角の各会報告にも拘わらず焦点が定まらない結果となった点も否めず、次回には改善したいと思います。

尚、岐阜県での「山岳遭難防止条例」制定 「御嶽山噴火」事故等もあり、「各会内での山行管理」は重要性を増していますので、引き続き取り組むべき事と判断します。

また、筋トレ実技については2月「県連総会」 5月「県連初級登山講習」に続いての実施となりましたが、参加の方には良い機会提供になったと思います。

そして、県連救助隊による「セルフレスキュー実技」は、従来のパターン（7点セットの使用法）よりの踏み込んだ取り組みとなり（ヒトココ紹介 ヘルメット概略等）、次回の展開が期待されます。



♥ 関東ブロック女性委員会交流山行

第2弾 景信山(高尾)もちつき&なべ

2015/3/15(日)



関東ブロック女性委員会「もちつきハイク」を今年もやります。

早春の一日、関東ブロックの女性たちの交流を深めていきましょう。ふるってご参加を。

+++++

■スケジュール 集合 JR高尾駅北口 午前9時

(往路) 高尾駅北口(タクシー)→景信山登山口→(1 時間)景信山

*コースを自由にとって現地集合でもかまいません。景信山山頂 11 時～11 時 30 分

(復路) 現地 14 時解散。下山コースは自由にとってください。

■会費 1, 000円 (お餅各種とおなべ)

■持ち物 食器、はし、水500cc以上(自身の飲み水の他)。ハイキングの装備。

■締切 3月7日

+++++

◆ 千葉県連盟の問い合わせ : 千葉県連盟 広木 国昭 (danphiro@zpost.plala.or.jp)

千葉県連盟は、自由参加とします。各会・クラブでさそいあって参加して下さい。

千葉県連盟よりのお知らせ

◆ 千葉県連盟創立50周年事業について。

千葉県連盟は、2016年に創立50周年を迎えます。

大きな節目の50周年を、全会・クラブの参加で記念事業を成功させ、全会員と共に喜びたいと思います。記念行事は、各会の代表者・県連盟理事を中心に実行委員会を立ち上げて組んでいます。それぞれの取り組みの進捗や募集については、ちばニュースや千葉県連盟・ホームページに掲載して行きます。

情報を確実にキャッチして、参加・協力をお待ちしています。

◆ 各会・クラブ代表者、県連理事合同会議について。

千葉県連・定期総会は2年に1回実施し、その間に会・クラブ代表者、県連理事の合同会議を実施しています。今年度は、下記日程で代表者・県連理事合同会議を実施します。一般議題の他に、新特別基金の改正点について講習会を実施します。

この機会に、基金について理解を深めて下さい。基金担当者の出席をお願いします。

記

- 1、 実施日 : 2月15日(日) 13時より
- 2、 場 所 : 船橋中央公民館 和室(047-434-5551)
(JR船橋駅下車 徒歩7分・京成船橋下車 徒歩5分)
- 3、 参加者 : 各会・クラブ代表者(又は代理者)・基金担当者
- 4、 講習会 : 新特別基金の変更項目を中心に実施します。
講師 鶴田副理事長(全国基金管理委員)

◆ ホームページ部会から

労山の組織活動で、ホームページの果たす役割の重要性は数多く報告されています。千葉県連盟においても、ホームページを活用している会・クラブは、入会者も多く、会活動も活発になっています。

千葉県連盟のホームページは、管理者が変わり大きくリニューアルしました。

- ・ 「フォトギャラリー」: 山行のスナップ・風景写真等を送っていただき、山の会らしい「ホームページ」にしたいと思います。
- ・ 「山と楽しむ」: 山+ワン 山行帰りの温泉、必ず寄るこだわりの美味しいもんなどを紹介して下さい。

会の仲間との楽しい山行記録等を、千葉県連の仲間に発信して下さい。

◆ 2015年度の組織数について、

千葉県連盟の加盟会は、前年度より2会少なくなり18会になりました。

1会は、会員の多くが都内居住者となり都連盟に移籍、1会は高齢化等で会活動が出来なくなり解散しました。全国的にも、高齢化は深刻な状況になっています。同時に、

新しい会員を迎える活動も、より重要になっています。千葉県連盟としても、組織強化方針を明確にして、各会・クラブの協力を得て積極的に取り組んで行きます。

組織にとって、数が全てではありません。しかし、組織運営には一定の数が必要です。

既存の会・クラブでの会員拡大の他に、新しい会の入会、立ち上げが必要不可欠です。

2015年度の会員数は、768名から774名となりました。

引き続き、参加・協力をお願いします。

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

- ◎ 千葉労山事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX： 043-306-1190
Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
(県連事務所に常駐者はいません)
- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
県連盟への問い合わせは、上記ホームページ
事務局への問い合わせまで
- ◎ 加盟会会員の事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax：043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず
送付の事。
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
機関紙委員会・広木 国昭
danphiro@zpost.plala.or.jp
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先
口座番号：ゆうちょ銀行
00240-8-98419
加入者名：NPO法人 ちば労山ゆう
代表者 吉田 哲治
- ◎ その他、県連盟、全国連盟への、
ご意見・問い合わせなどは・広木まで

NPO法人「ちば労山ゆう」

「ちば労山ゆう」とは、東日本大震災を支援するために、千葉県勤労者山岳連盟を母体として活動を始めた、被災者支援NPO法人です。

- ◎ 「ちば労山ゆう」への入会は
千葉県連盟ホームページから
常時入会出来ます。
・入会申し込みは
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
・「ちば労山ゆう」への問合せは
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>
- ◎ 支援活動について
・2月は、お休みします。
・3月14・15日です。
- ◎ 支援物資販売活動について
皆様の、ご協力により大きな成果
がありました。
引き続きご協力をお願いします。
三陸・気仙沼直送の支援物資は
「おさしみわかめ」「さしみこんぶ」
「くきわかめ」「すき昆布」
「とろろこんぶ」
常時在庫あります。
牡鹿半島の「塩蔵わかめ」も
支援物資に関する問い合わせは
下記アドレスに連絡を！
広木 国昭
danphiro@zpost.plala.or.jp
090-8316-2020

県 連 活 動 予 定 表

2月		行事予定	3月		行事予定
1	日	ワンコイン講習会	1	日	
2	月		2	月	女性委員会(17:30)
3	火	役員会	3	火	役員会
4	水		4	水	
5	木		5	木	
6	金		6	金	
7	土		7	土	
8	日		8	日	
9	月		9	月	
10	火		10	火	
11	水		11	水	
12	木	自然保護委員会	12	木	自然保護委員会
13	金		13	金	
14	土		14	土	
15	日	代表者・理事合同会議	15	日	
16	月		16	月	
17	火		17	火	ハイキング委員会
18	水		18	水	
19	木	(理事会はお休みです)	19	木	理事会
20	金		20	金	
21	土	全国評議会	21	土	
22	日	//	22	日	
23	月	教壇委員会	23	月	「ゆう」役員会
24	火		24	火	
25	水		25	水	
26	木	組織委員会	26	木	雪上技術講習会打ち合わせ
27	金		27	金	
28	土		28	土	
			29	日	
			30	月	「ゆう」役員会
			31	火	

発行者：千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190 (事務所に常駐者はいません)

発行責任者：吉田 哲治 編集責任者：広木 国昭

問い合わせ先：千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ